

Nagasaki

ながさきピース ミュージックラリー

2025

Peace

本事業は、「ながさきピース文化祭2025（第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭）」の地域文化発信事業として、また11月15日（土）にアルカスSASEBO大ホールで開催する「～長崎から世界へ響く平和のハーモニー～バッハ・コレギウム・ジャパン『メサイア』公演」の関連企画として開催します。世界最高峰の古楽器オーケストラが奏でるヘンデルの最高傑作をお楽しみください。

Music Rally

～長崎から世界へ響く平和のハーモニー～
バッハ・コレギウム・ジャパン
「メサイア」公演



©K.Miura



〈出演〉鈴木優人（指揮）、バッハ・コレギウム・ジャパン（合唱・管弦楽）、森麻季（ソプラノ）
藤木大地（カウンターテナー）、中嶋克彦（テノール）、加来 徹（バリトン）

〈予定曲目〉オラトリオ「メサイア」（G.F.ヘンデル）全曲

～活水女子大学音楽学部の学生さんも共演します！～

詳しい
公演情報は
コチラ



11.15（土）

12:15開場／13:00開演
（終演予定16:00）

アルカスSASEBO 大ホール

【全席指定】S席6,000円

A席5,000円

B席4,000円

25才以下各席2,000円

※当日500円増

アルカスクラブ会員先行発売 8月2日（土）

一般プレイガイド発売 8月16日（土）

Nagasaki

第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭

ながさきピース文化祭2025

ながさきピース ミュージックラリー



2025



Peace

私たちが暮らす長崎は、たくさんの観光スポットのほか、伝統的な教会遺産など西洋と東洋が融合した独自の文化が受け継がれています。今年の「ながさきピースミュージックラリー2025」では、長崎・佐世保市内の『港町』『観光』『平和』というキーワードで長崎らしい会場にスポットをあてて、無料のコンサートを行います。音楽を通じて平和を長崎から国内外へ発信しようという想いを込めています。

観覧無料

（事前申込不要）

0才
OK

Music Rally

スポット1



新みなと
ターミナル



9.23（火・祝）

15:00～16:00

出演 前田リリ子
（フラウト・トラヴェルソ）

スポット2



カトリック黒島教会
（黒島天主堂）



10.18（土）

13:00～13:45

出演 中嶋克彦（テノール）
浅井美紀（オルガン）

スポット3



カトリック
三浦町教会



11.8（土）

13:30～14:30

出演 丸山韶
（バロック・ヴァイオリン）



ながさきピース
文化祭2025

〈主催〉文化庁／厚生労働省／長崎県／第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭長崎県実行委員会／佐世保市第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭佐世保市実行委員会

〈企画・制作〉アルカスSASEBO

〈お問い合わせ〉アルカスSASEBO（佐世保市、公益財団法人佐世保地域文化事業財団） TEL0956-42-1111（第2・4水曜日休館） <https://www.arkas.or.jp>



新みなとターミナル | 1階待合ロビー |

定員
約80名

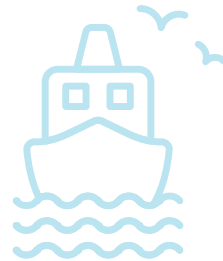
「佐世保の海の玄関口で感じる西洋文化伝来の歴史」



9.23(火・祝) 15:00～16:00
※15:00発のフェリー出航後開演♪

〈出演〉前田りり子(フラウト・トラヴェルソ)

〈予定曲目〉「笛の楽園」より涙のパヴァーヌ (J.ファン・エイク)
恋の鶯 (F.クープラン)
無伴奏フルートのための組曲 イ短調 (J.S.バッハ) ほか



前田りり子
(フラウト・トラヴェルソ)



現代のフルートの祖先にあたる、作曲家が生きていた時代に使われていた楽器を用いて、中世から19世紀までの音楽の再現を試みている西洋の横笛奏者。バロックのバッハ・コレギウム・ジャパン、クラシックのオーケストラ・リベラ・クラシカ、ルネサンスのソフィオ・アルモニコ、中世のメネストレルロなど、幅広い時代の古楽の演奏団体のメンバーとして演奏・レコーディング活動をしている。桐朋学園大学古器科を経て、オランダのデン・ハーグ王立音楽院の大学院修了。有田正広、バルトルド・クイケン両氏に師事。1996年、山梨古楽コンクールにて第1位、1999年、ブルージュ国際古楽コンクールで2位入賞。フルートの歴史をつづった「フルートの肖像」を出版し、古楽の普及活動にも力を入れている。現在、東京藝術大学非常勤講師。公式ホームページは「りりこの部屋」で検索。

Profile



カトリック黒島教会 (黒島天主堂)

定員
約300名

「教会内に響き渡る歌声とオルガンのハーモニー」

10.18(土) 13:00～13:45

〈出演〉中嶋克彦(テノール)、浅井美紀(オルガン)

〈予定曲目〉オラトリオ「メサイア」より
《慰めよ、わたしの民を慰めよ～全ての谷は高くせられ》(G.F.ヘンデル)
《天使の糧》(C.フランク) ほか



中嶋克彦 (テノール)



長崎県大村市出身。福岡教育大学音楽科卒業。東京藝術大学大学院修士課程オペラ科修了。同大学院博士課程オペラ科修了、博士号取得。2012年より文化庁在外派遣研修員としてドイツに留学。マインツ音楽大学のバロック声楽コースにて研鑽を積んだ。第13回日本モーツァルト音楽コンクール第2位。

ルネッサンスから現代まで幅広いレパートリーで、なかでもJ・S・バッハやヘンデルなど、バロックの作品において多く活躍している。アントネッロ、バッハ・コレギウム・ジャパン、ラ・フォンテヴェルデ、コレギウム・ムジカーレ、パーセル・プロジェクト等のメンバーとして国内外におけるコンサートや録音に多数出演する。オラトリオのソリストとしても定評があり、ヘンデル「メサイア」やモーツァルト「レクイエム」、ベートーヴェン「交響曲第9番」、ハイドン「天地創造」、メンデルスゾーン「エリヤ」「聖パウロ」、オルフ「カルミナ・ブラーナ」等、国内の主要オーケストラとの共演も多い。

またオペラでは、第50回東京藝術大学大学院オペラ定期公演モーツァルト『コシ・ファン・トゥッテ』のフェランド役でオペラデビュー。以降、新国立劇場におけるR・シュトラウス『サロメ』(第1のユダヤ人)、ツィンマーマン『軍人たち』(三人の若い士官1)、ビゼー『カルメン(鑑賞教室)』(レメンダート)などのほか、サントリーホールオペラアカデミー公演ドニゼッティ『愛の妙薬』(ネモリーノ)など、多くの舞台に出演している。

現在、国立音楽大学大学院非常勤講師。

Profile



カトリック三浦町教会

定員
約200名

「佐世保市中心部に佇む
平和のシンボルに響くバロック・ヴァイオリンの調べ」

11.8(土) 13:30～14:30

〈出演〉丸山 韶(バロック・ヴァイオリン)

〈予定曲目〉無伴奏ヴァイオリン・ソナタ 第1番 BWV1001より
Adagio,Fuga (J.S.バッハ)
アッサジジョ ト短調 BeRI 320 (J.H.ルーマン)
ファンタジア 第1番 ハ短調 よりCon discretion (N.マッテイスJr.)
ほか



丸山 韶
(バロック・ヴァイオリン)



神奈川県立弥栄高等学校音楽コースを経て、京都市立芸術大学を首席で卒業。京都市長賞、京都音楽協会賞受賞。東京藝術大学別科古楽科修了。NHK Eテレ「ららら♪クラシック」、NHK-FM「リサイタル・パッシオ」にソロ出演。バッハ・コレギウム・ジャパン、富山バッハ管弦楽団、オーケストラ・リベラ・クラシカ、レ・ボレアード、チェンバー・ソロイスツ・佐世保、各メンバー。古楽アンサンブル コントラポント コンサートマスター。古楽オーケストラ La Musica Collanaディレクター、ソロ・コンサートマスター。Ensemble LMCリーダー。木心トリオ(川口成彦、丸山韶、島根朋史) ヴァイオリン奏者。CDアルバム「Con affetto」、「FRENESIA」、「Fioritura」をリリース。音楽之友社「レコード芸術」準特選盤、読売新聞「サウンズBOX」推薦盤、朝日新聞「for your Collection」推薦盤などに選出される。桐朋学園大学非常勤講師。

バロック・ヴァイオリンとは、16世紀後半～18世紀中頃に演奏されていたヴァイオリンの様式で、バロック弓を使用し、ガット弦の瑞々しく豊潤な響きが特徴です。

Profile

※写真掲載に当たっては大司教区の許可をいただいています。 ※本公演に関するお問い合わせはアルカスSASEBOまでお願いします。

※満席の場合は立ち見もしくは入場をお断りする可能性があります。予めご了承ください。

※三浦町教会には駐車場がありません。その他の会場も駐車場の数に限りがございますので、公共交通機関や近隣の有料駐車場をご利用ください。

※やむを得ず公演が中止または延期、出演者や曲目など内容に変更が生じる場合がございます。